

新規事業箇所調書

		調書作成年月日		平成23年 2月 7日																				
		事業担当課		森林整備課																				
事業名	予防治山事業（馬越） <small>まこし</small>	補助・単独の別	補助	事業主体	県																			
施行地名	刈田郡蔵王町曲竹字馬越地内 <small>かつたぐんごおうまちなまがたけあまこし</small>			管理主体	県																			
根拠法令	森林法																							
事業概要	事業目的	<p>当計画地は、宮城県刈田郡蔵王町の町役場に比較的近い場所に位置し、北側には松川（一級河川）が流れ、それに沿った形で町道が走り、さらに隣接部には豊富な水量を生かした東北電力曲竹発電所があるなど、民家が少ない区域でありながら比較的往來のある場所となっている。</p> <p>施工対象箇所は、ここ数年間において度々落石が発生しており、平成18年1月には1m程度の石が、平成20年3月には50cm程度の石が落下している。その後、発生源と思われる箇所を調査したところ、山腹中央部に厚さ2～4mの岩塊を多く含む凝灰角礫岩層及び岩塊混じり砂質土層があり、この層の母材が風化・浸食し露出した岩塊が落下している状況であることから、当区域の森林に対しては土砂流出防備のための公益的機能が期待される。</p>																						
	事業内容	山腹工 0.1ha																						
	事業費	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <th rowspan="2">全体事業費</th> <th colspan="4">費用負担内訳</th> </tr> <tr> <th>国</th> <th>県</th> <th>市町村</th> <th>その他 ()</th> </tr> <tr> <td>内用地費</td> <td>[50 %]</td> <td>[50 %]</td> <td>[- %]</td> <td>[- %]</td> </tr> <tr> <td>0.21億円</td> <td>— 億円</td> <td>0.105億円</td> <td>0.105億円</td> <td>— 億円</td> </tr> </table>				全体事業費	費用負担内訳				国	県	市町村	その他 ()	内用地費	[50 %]	[50 %]	[- %]	[- %]	0.21億円	— 億円	0.105億円	0.105億円	— 億円
	全体事業費	費用負担内訳																						
国		県	市町村	その他 ()																				
内用地費	[50 %]	[50 %]	[- %]	[- %]																				
0.21億円	— 億円	0.105億円	0.105億円	— 億円																				
事業期間	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td>事業期間</td> <td colspan="3">平成23年度（1年間）</td> </tr> <tr> <td>用地買収着手予定年度</td> <td>平成—年度</td> <td>工事着手予定年度</td> <td>平成23年度</td> </tr> </table>				事業期間	平成23年度（1年間）			用地買収着手予定年度	平成—年度	工事着手予定年度	平成23年度												
事業期間	平成23年度（1年間）																							
用地買収着手予定年度	平成—年度	工事着手予定年度	平成23年度																					
施設管理の予定	県が維持管理を行う。																							

事業の必要性	上位計画等	<p>治山事業は、森林法に基づく「森林保全整備事業計画」により、豪雨等による山地災害を防止するとともに、これによる被害を最小限にとどめ地域の安全性の向上に資するため、保治山施設の設置と機能が低下した保安林の整備等を推進することとしている。</p> <p>県においても、「治山事業実施方針」により山地災害の復旧及び未然防止に努めることとしており、本地区で指定された山地災害危険地区での治山対策を推進している。</p>
	事業を巡る社会経済情勢等	<p>○社会経済情勢</p> <p>* 災害発生時の影響 保全対象：公道1,600m、農地等0.2ha、曲竹発電所</p> <p>* 過去の災害実績 平成18年1月には1m程度の石が、平成20年3月には50cm程度の石が落下し、保全対象に影響を及ぼしている。</p> <p>○地元情勢、地元の意見</p> <p>* 地域の協力体制等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地元自治体による山地防災パトロール等の実施 ・ 土砂流出防備保安林指定地 ・ 山地災害危険地区（山腹崩壊危険地区）指定地
事業の有効性	事業効果	<p>○想定される事業効果</p> <p>山腹工の実施により、荒廃している山腹に存する不安定岩塊を固定し、山地に起因する災害から直下の保全対象範囲の生命・財産などが保全される。</p>

事業の効	関連事業の概要・進捗状況等		
	特になし。		
	代替案との比較検討		
	<p>不安定岩塊の落下を抑制するため、これら抑止機能を高度に発揮する山腹工（特殊配合モルタル吹付工・緑化吹付工及び法切工）を採用している。</p> <p>なお、本地区の事業計画と同様の治山対策を隣接した山腹において実施しており、その機能を効果的に発揮している。</p>		
の	コスト縮減計画		
	<p>現地で発生した支障木を吹付緑化の基盤材に再利用する等、詳細調査結果に応じて積極的なコスト縮減を検討する。</p>		
率	費用対効果		
	<p>根拠マニュアル：林野公共事業における事前評価マニュアル（平成22年3月）</p> <p>社会的割引率： 4 %</p> <p>便益算定期間： 50 年</p> <p>基準年：平成23年</p>		
性	費用項目	建設費	20,192千円
		維持管理費	
		総費用	20,192千円
		現在価値（C）	20,192千円
	便益項目	水源かん養便益	6,564千円
		山地保全便益	24,384千円
		総便益	30,948千円
		現在価値（B）	30,948千円
	費用便益比（B/C）		1.53

環境への影響と対策	地域指定状況等										
		特になし。									
環境への影響と対策	影響と対策										
		環境への負荷の低減，自然環境の保全等の観点から，現地で発生した支障木を吹付緑化の基盤材に再利用する等，県産材を積極的に利活用する。									
総合評価	事業箇所評価結果										
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>評点による順位</th> <th>予算化された箇所数</th> <th>評価結果と予算への反映状況が異なる場合の理由 (低順位にもかかわらず予算化された理由)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>予防治山事業（新規事業箇所）</td> <td></td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>3位／7</td> <td>6箇所</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評点による順位	予算化された箇所数	評価結果と予算への反映状況が異なる場合の理由 (低順位にもかかわらず予算化された理由)	予防治山事業（新規事業箇所）		—	3位／7	6箇所	
	評点による順位	予算化された箇所数	評価結果と予算への反映状況が異なる場合の理由 (低順位にもかかわらず予算化された理由)								
	予防治山事業（新規事業箇所）		—								
3位／7	6箇所										
総合評価	対応方針										
		事業実施									

現況写真



- ※1 (左上) 当計画地のほぼ中央に位置する崩壊地の状況。
(右上・下) 落石の発生源である山腹中央部に厚さ2～4mの岩塊を多く含む凝灰角礫岩層及び岩塊混じり砂質土層の状況。